

別表 評価基準表

【第1次選考(ヒアリング審査)】

・第1次選考の合計点が上位の者から、第2次選考候補者を5者以内で選定する。

評価項目		評価の視点	指標	委員一人あたりの配点
大項目	中項目			
1	設計担当者の経験と能力	管理技術者の経歴	様式2	5点
		意匠担当主任技術者の経歴	様式3	5点
		代表作品の設計実績	様式7 代表作品の説明資料 ヒアリング内容	35点
2	業務の実施方針	・業務への取組体制、設計チームの特徴(協体制・業務分担体制等)、特に重視する設計上の配慮事項等の妥当性 ・業務内容、業務背景、手続の理解度	様式4 様式5 ヒアリング内容	15点
3	本施設整備に対する考え方	・地域のまちづくりに対する課題認識があるか ・独創性かつ実現性への思いがあるか	様式6 ヒアリング内容	30点
4	取組意欲	・積極的に取組む姿勢	ヒアリング内容	10点
合計				100点

※管理技術者が意匠担当主任技術者を兼任する場合は、管理技術者の経歴の配点を10点とする。

【第2次選考(現地審査)】

・第2次選考の合計点をもとに、委員の合議により、最優秀者及び次点者を選定する。

評価項目		評価の視点	指標	委員一人あたりの配点
1	目視による建築的評価			
2	施設管理者の意見	・施設の快適性 ・建物の管理上の問題点等 ・建物の運用上の問題点等	施設管理者へのアンケート内容	20点
3	発注者の意見	・信頼性(建築家としての能力に対して信頼が置けたか) ・協調性(建築に関わる関係者と良い関係が保たれたか) ・積極性(積極的な提案や行動が評価できたか)	発注者へのアンケート内容	10点
合計				100点